

地域一体となった観光地の再生・ 観光サービスの高付加価値化事業 事業の概要・活用事例集

**地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業
事務局**

目次

- 1. 本事業の概要 2
- 2. 本年度の振り返り／各地の取り組み紹介
 - 本事業の採択結果 10
 - 活用事例と参照すべきポイント 21
 - ① 地域内の面的な取組 24
 - ② 地域間の回遊 43
 - ③ 離島間の回遊 46
 - ④ 顧客ターゲットの拡大 49
 - ⑤ 滞在期間の延長 52
 - ⑥ 新たな観光地化 55
 - 選ばれる観光宿泊地づくりのヒント・伴走支援で出来ること 58
- 3. その他共有事項 60
- 付録：活用事例に類似する地域集 62

1. 本事業の概要

本事業の背景

コロナ禍による
観光産業・観光地への
影響

ライフスタイル・価値観の
変化から生まれる新たな
観光ニーズ

本事業の目的

ポストコロナの反転攻勢につなげるため、
地域一体となって取り組む高付加価値化等を支援

本事業で行う支援とは

① 地域計画の作成支援

地域における観光地の再生プラン（地域計画）の作成に向けた取組を**伴走型で支援**

② 地域計画に基づく施設改修など

宿泊施設の改修や廃屋の撤去など、**観光地再生に向けた地域計画に基づき実施される取組を支援**

※地域一体の取り組みが支援対象、事業者等が単独で行う改修などは対象外

「②地域計画に基づく施設改修など」のメニュー詳細

宿泊施設の高付加価値化



補助上限 1 億円（補助率原則1/2※）

観光地魅力向上のための廃屋撤去



補助上限 1 億円（補助率1/2）

観光施設改修



補助上限500万円（補助率1/2）

公的施設への観光目的での改修



補助上限2,000万円（補助率1/2）

交通関係事業

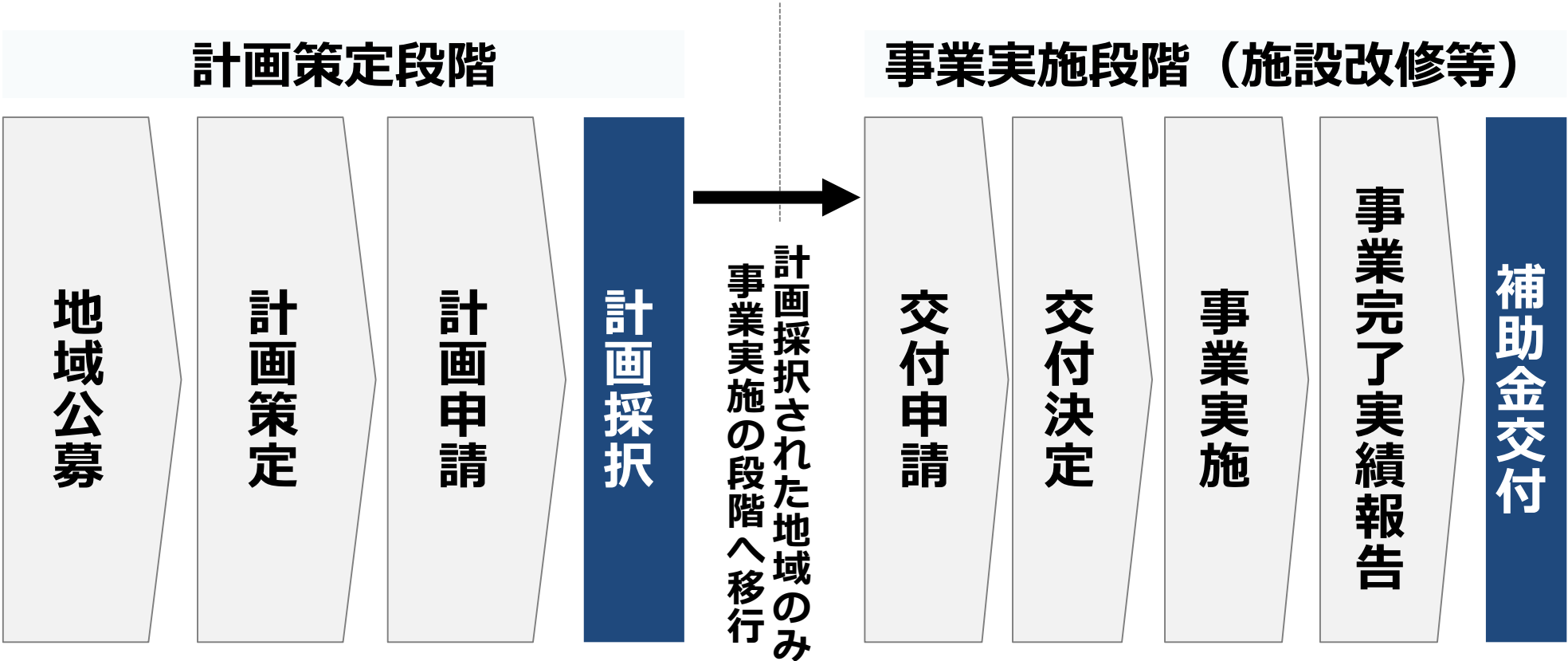
補助上限5,000万円（補助率1/2）

実証事業

補助上限1,000万円（補助率1/2）

※投資余力に乏しい事業者について、一定の条件を満たせば補助率2/3

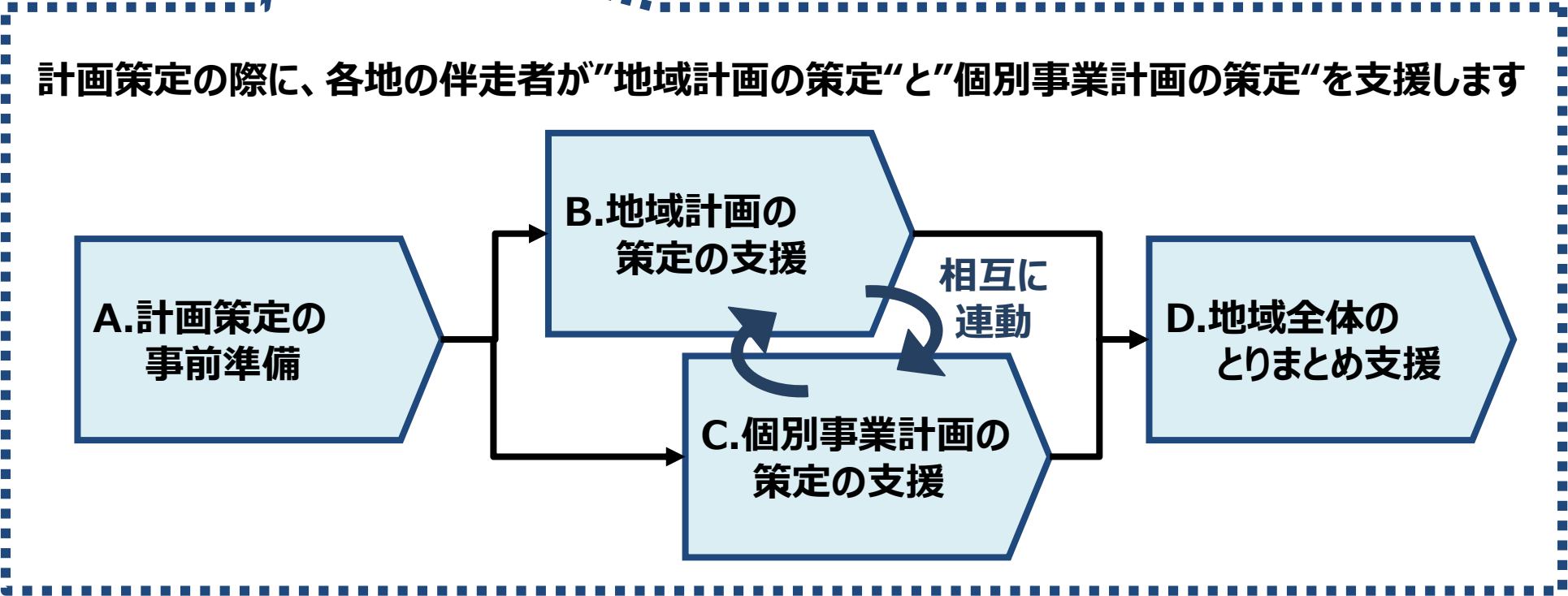
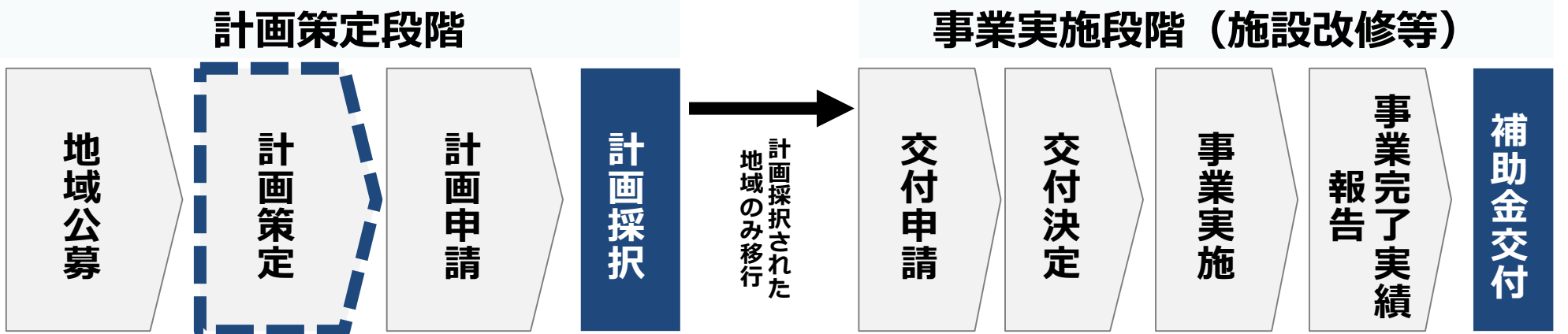
計画策定から補助金交付の流れ



- ✓ 自治体・DMO・事業者などの関係者が一体となり、計画策定に取り組む
- ✓ 策定された計画を有識者による審査を経て採択有無が決定

- ✓ 計画採択された地域は、施設改修などの事業実施の段階へ移行
- ✓ 事業完了後、事業完了実績報告の審査を経て補助金額交付を行う

伴走支援の概要



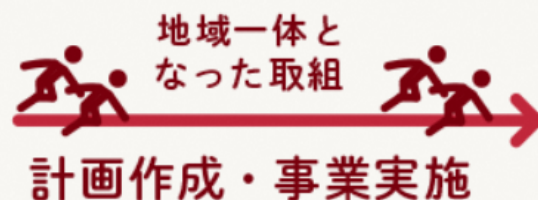
伴走支援を受ける際の注意事項

- ✓ 本事業は地域の皆様が主体的に取り組んでいただくものとなります
- ✓ 伴走支援を受けることは計画採択をお約束するものではありません

- ✓ 取り組みの主体は地域
- ✓ 伴走者はサポート



苦戦する事業者



2. 本年度の振り返り／各地の取り組み紹介

本事業の採択結果

本事業の採択結果

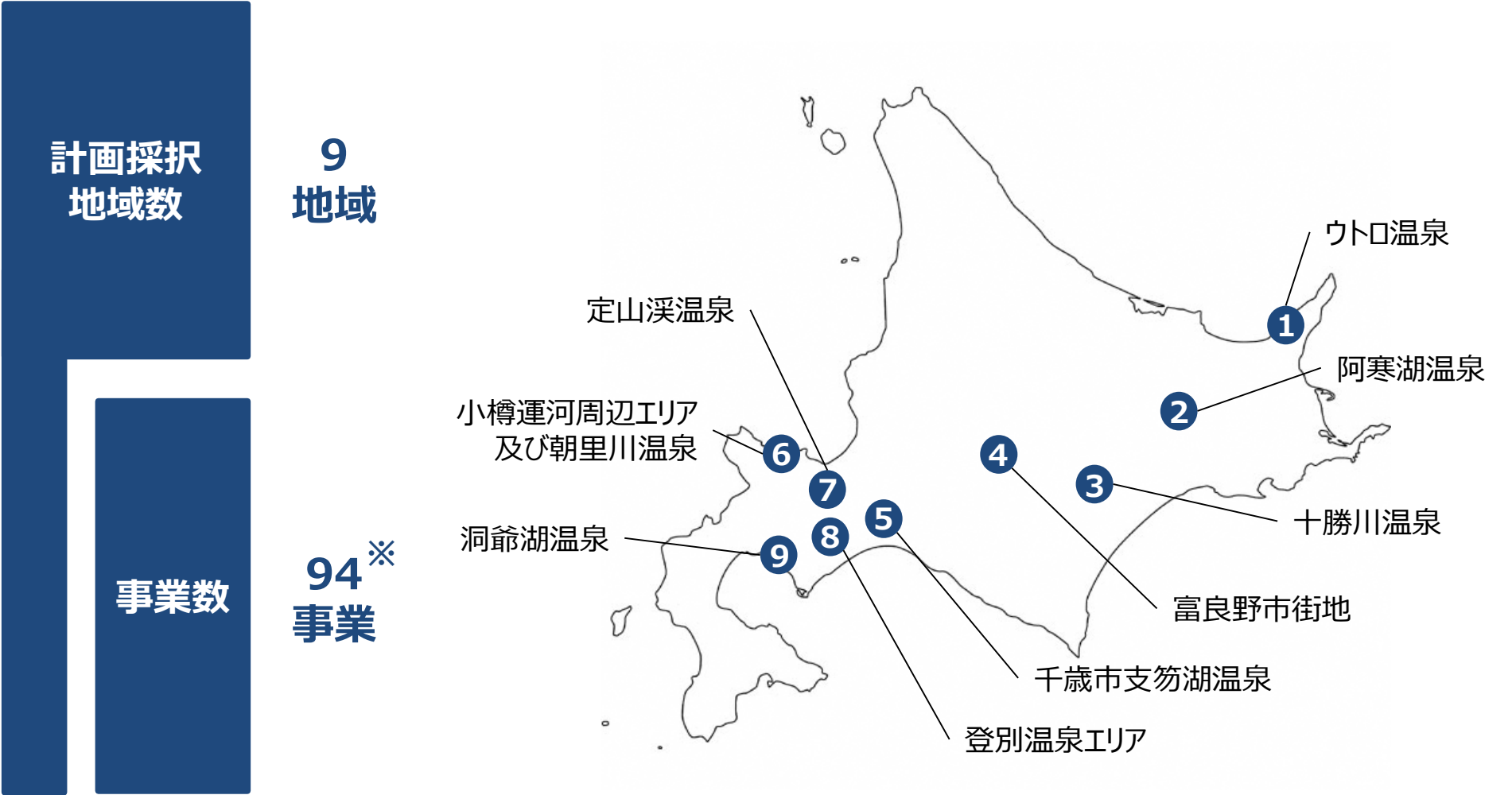
	総数	概要
申請数	312地域	✓ 本事業に申請した地域の数
計画採択地域数	138地域	✓ 審査の結果、採択となった地域の数
事業数	2,385事業※	✓ 採択となった地域で実施する事業の数（宿泊施設の改修や廃屋の撤去、交通事業など）

※事業数の内訳

①宿泊施設：1,530事業	②観光施設：506事業	③廃屋の撤去：167事業
④公的施設：10事業	⑤交通関係：80事業	⑥実証実験：92事業

地域ブロックの採択結果（北海道ブロック）

採択結果



※事業数の内訳

- ①宿泊施設：58事業
- ②観光施設：21事業
- ③廃屋の撤去：8事業
- ④公的施設：0事業
- ⑤交通関係：2事業
- ⑥実証実験：5事業

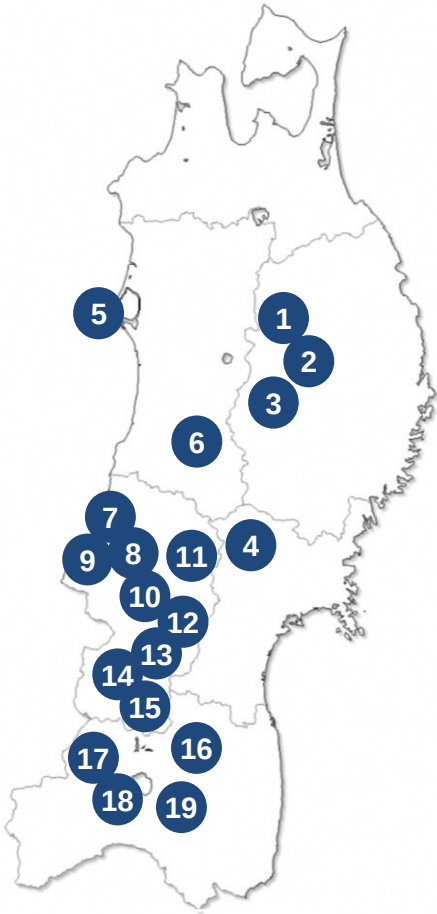
地域ブロックの採択結果（東北ブロック）

採択結果



19
地域

281※
事業



※事業数の内訳

- ①宿泊施設：159事業
- ②観光施設：89事業
- ③廃屋の撤去：23事業
- ④公的施設：1事業
- ⑤交通関係：6事業
- ⑥実証実験：3事業

NO.	所在地	計画地域
①	岩手県	安比高原及び八幡平温泉郷エリア
②		つなぎ鶯宿盛岡県央エリア
③		花巻温泉郷
④	宮城県	鳴子温泉郷
⑤	秋田県	男鹿温泉郷含む男鹿北部地域
⑥		横手駅前エリア
⑦	山形県	湯野浜温泉
⑧		鶴岡市
⑨		湯田川温泉
⑩		月山志津温泉
⑪		銀山温泉
⑫		天童市
⑬		山形市
⑭		かみのやま温泉
⑮		南陽市
⑯	福島県	福島市
⑰		喜多方市
⑱		会津若松市
⑲		磐梯熱海温泉エリア

地域ブロックの採択結果（関東ブロック）

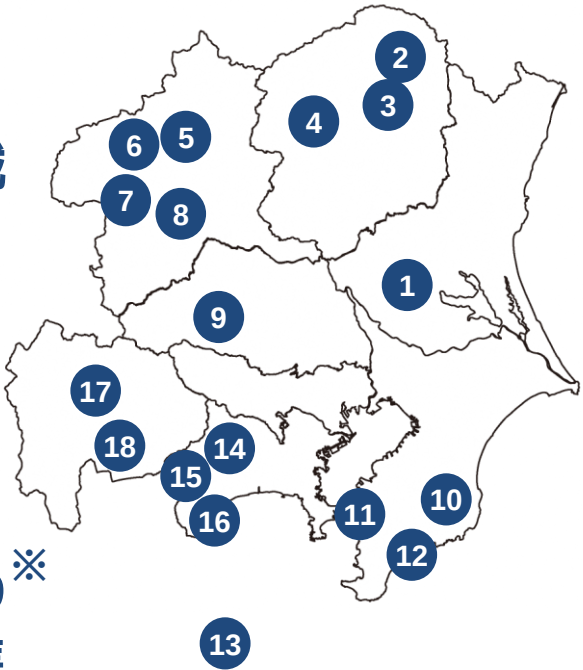
採択結果

計画採択
地域数

事業数

18
地域

429※
事業



NO.	所在地	計画地域
①	茨城県	つくば市
②	栃木県	那須温泉郷周辺地域
③		塩原温泉・板室温泉
④		日光・今市・足尾エリア／鬼怒川・川治エリア／湯西川・川俣・奥鬼怒エリア
⑤	群馬県	みなかみ町
⑥		四万温泉
⑦		草津温泉
⑧		伊香保温泉
⑨	埼玉県	秩父地域
⑩	千葉県	養老溪谷
⑪		鋸南エリア/南房総市/館山市
⑫		鴨川市
⑬	東京都	大島町全域
⑭	神奈川県	箱根温泉
⑮		湯河原町
⑯		真鶴町
⑰	山梨県	石和温泉
⑱		河口湖温泉

※事業数の内訳

- ①宿泊施設：314事業
- ②観光施設：60事業
- ③廃屋の撤去：24事業
- ④公的施設：1事業
- ⑤交通関係：8事業
- ⑥実証実験：22事業

地域ブロックの採択結果（中部ブロック）

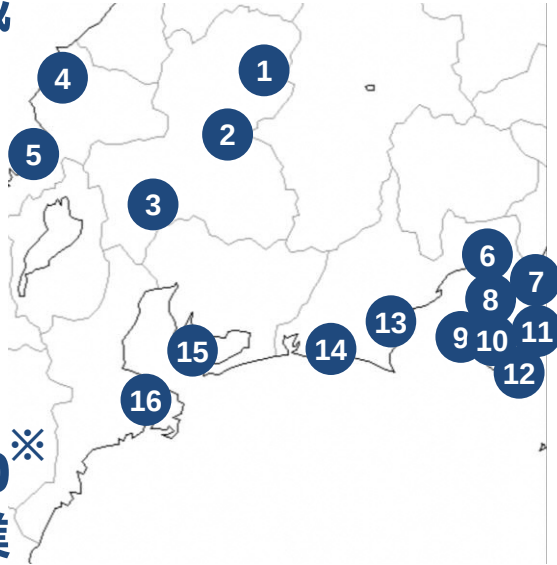
採択結果

計画採択
地域数

事業数

16
地域

330※
事業



NO.	所在地	計画地域
①	岐阜県	飛騨高山
②		下呂温泉
③		長良川と金華山を核とした長良川温泉・岐阜城下町エリア
④	福井県	あわら温泉街
⑤		小浜市街地
⑥	静岡県	伊豆長岡温泉地区
⑦		熱海市
⑧		修善寺温泉
⑨		土肥温泉
⑩		天城湯ヶ島温泉
⑪		伊東温泉
⑫		東伊豆町/東伊豆町・下田市連携/ 下田温泉
⑬		静岡駅周辺“おまち”エリア
⑭		浜名湖観光圏
⑮	愛知県	日間賀島・篠島
⑯	三重県	鳥羽市全域

※事業数の内訳

- ①宿泊施設：222事業
- ②観光施設：58事業
- ③廃屋の撤去：24事業
- ④公的施設：0事業
- ⑤交通関係：12事業
- ⑥実証実験：14事業

地域ブロックの採択結果（北陸信越ブロック）

採択結果

計画採択
地域数

事業数

18
地域

※
312
事業



NO.	所在地	計画地域
①	新潟県	月岡温泉
②		佐渡島
③		湯沢町エリア/雪国観光圏
④		上越市 高田・直江津・大潟・鵜の浜温泉
⑤	富山県	宇奈月温泉・黒部峡谷
⑥	石川県	和倉温泉
⑦		加賀市
⑧	長野県	野沢温泉地区
⑨		小谷村エリア
⑩		湯田中渋温泉郷・志賀高原
⑪		白馬村
⑫		大町温泉地区
⑬		立科町
⑭		浅間温泉
⑮		茅野市
⑯		中山道「奈良井宿・藪原宿エリア」
⑰		諏訪市街地
⑱		阿智村昼神温泉郷

※事業数の内訳

- ①宿泊施設：211事業
- ②観光施設：59事業
- ③廃屋の撤去：26事業
- ④公的施設：2事業
- ⑤交通関係：5事業
- ⑥実証実験：9事業

地域ブロックの採択結果（近畿ブロック）

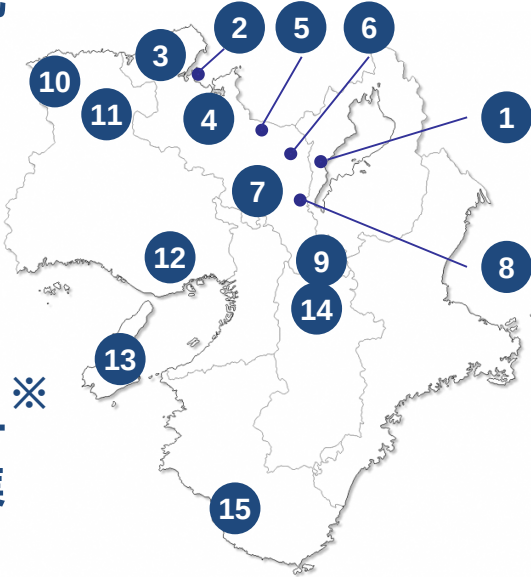
採択結果

計画採択
地域数

事業数

15
地域

354※
事業



NO.	所在地	計画地域
①	滋賀県	比叡山・びわ湖周辺エリア
②	京都府	宮津天橋立温泉郷
③		京丹後市
④		舞鶴市街地
⑤		南丹市美山町地区
⑥		右京区・左京区（嵯峨嵐山、高雄、京北、貴船・鞍馬、八瀬・大原）
⑦		湯の花温泉～JR亀岡駅北側エリア
⑧		京都駅から東山エリア
⑨		相楽郡和束町
⑩		湯村温泉・浜坂温泉郷
⑪		豊岡市
⑫	兵庫県	有馬温泉及びウォーターフロントエリア
⑬		淡路島全域
⑭	奈良県	奈良公園周辺
⑮	和歌山県	白浜温泉

※事業数の内訳

- ①宿泊施設：210事業
- ②観光施設：81事業
- ③廃屋の撤去：15事業
- ④公的施設：3事業
- ⑤交通関係：21事業
- ⑥実証実験：24事業

地域ブロックの採択結果（中国ブロック）

採択結果

計画採択
地域数

事業数

16
地域

231※
事業



NO.	所在地	計画地域
①	鳥取県	三朝温泉地区
②		とっとり梨の花温泉郷
③		皆生温泉
④	島根県	松江しんじ湖温泉群・玉造温泉群・美保関地区
⑤		大森の町並み地区と温泉津温泉
⑥		有福温泉
⑦		津和野町
⑧	岡山県	湯原温泉・久世
⑨		城東重要伝統的建造物群保存地区
⑩		湯郷温泉
⑪	広島県	鞆の浦エリア
⑫		大崎上島町地区
⑬		宮島地域
⑭	山口県	湯野温泉
⑮		「萩城下町」エリア等
⑯		湯田温泉

※事業数の内訳

- ①宿泊施設：131事業
- ②観光施設：65事業
- ③廃屋の撤去：22事業
- ④公的施設：1事業
- ⑤交通関係：10事業
- ⑥実証実験：2事業

採択結果



※事業数の内訳

- ①宿泊施設：54事業
- ②観光施設：20事業
- ③廃屋の撤去：6事業
- ④公的施設：1事業
- ⑤交通関係：12事業
- ⑥実証実験：5事業

地域ブロックの採択結果（九州・沖縄ブロック）

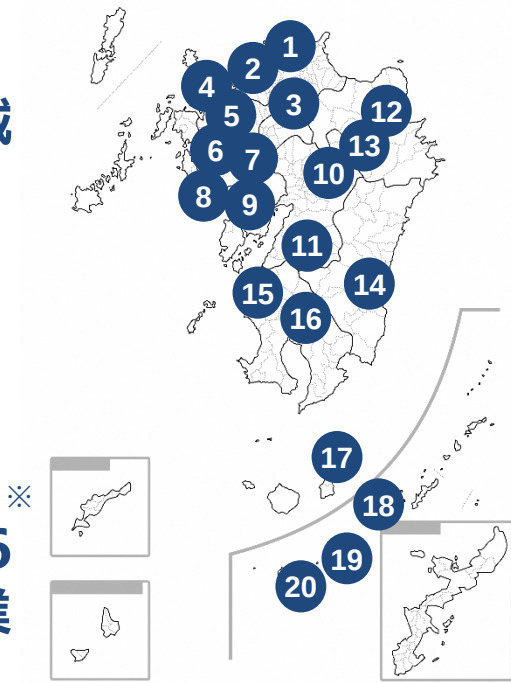
採択結果

計画採択
地域数

20
地域

事業数

256
事業



※事業数の内訳

- ①宿泊施設：171事業
- ②観光施設：53事業
- ③廃屋の撤去：19事業
- ④公的施設：1事業
- ⑤交通関係：4事業
- ⑥実証実験：8事業

NO.	所在地	計画地域
①	福岡県	岡垣町波津海岸エリア
②		宗像市北部エリア
③		福岡県原鶴温泉・筑後川温泉及び筑後川中流域周辺
④	佐賀県	呼子周辺エリア
⑤		武雄温泉
⑥		嬉野温泉
⑦		たら竹崎温泉
⑧	長崎県	長崎市街地
⑨		雲仙温泉・小浜温泉
⑩	熊本県	阿蘇市
⑪		人吉市街地
⑫	大分県	別府温泉
⑬		由布院温泉
⑭	宮崎県	青島・一ツ葉・ニシタチ
⑮	鹿児島県	出水市 駅前・商店街・出水麓武家屋敷群
⑯		霧島市
⑰		西之表港を中心とした港町エリア
⑱	沖縄県	久米島町
⑲		宮古島市
⑳		石垣島を中心とする八重山地域

活用事例と参照すべきポイント

本事業の活用事例と分類（一覧）

	分類	ポイント
宿泊施設が 密集する地域の 取り組み	1 地域内の面的な取組	✓ 宿泊施設が集まる地域で一体となり 取り組みを展開
	2 地域間の回遊	✓ 宿泊施設が集まる地域間での回遊性を 向上
宿泊施設が広範囲 で連携した取り組み	3 離島間の周遊	✓ 離島間で周遊を促進
独自の工夫を 加えている 取り組み	4 顧客ターゲットの拡大	✓ 新たに顧客ターゲットを拡大
	5 滞在期間の延長	✓ 滞在期間の延長に向けた取り組み
	6 新たな観光地化	✓ 地域資源を見直し、新たに観光地化

活用事例の分類と地域名（一覧）

分類		地域名
1	地域内の面的な取組	北海道ブロック
		東北ブロック
		関東ブロック
		中部ブロック
		北陸信越ブロック
		近畿ブロック
		中国ブロック
		四国ブロック
		九州・沖縄ブロック
		阿寒湖温泉（北海道釧路市） 天童温泉（山形県天童市） 伊香保温泉（群馬県渋川市） 下呂温泉（岐阜県下呂市） 和倉温泉（石川県七尾市） 城崎温泉（兵庫県豊岡市） 山口県萩市 香川県小豆島町・土庄町 由布院温泉（大分県由布市）
2	地域間の回遊	加賀温泉郷（石川県加賀市）
3	離島間の周遊	日間賀島・篠島（愛知県南知多町）
4	顧客ターゲットの拡大	静岡県熱海市
5	滞在期間の延長	長野県茅野市
6	新たな観光地化	京都府和束町

①地域内の面的な取組

①地域内の面的な取組（北海道ブロック）：阿寒湖温泉（北海道釧路市）

ビジョン・コンセプト

“世界・日本を代表する国立公園の温泉観光地”

特徴



湖畔に広がる温泉街・回遊施策

- 3つの商店街に宿泊施設・観光施設が集積し、阿寒湖温泉の中心部を形成
- 中心部に滞在しながら様々な観光スポットへアクセス可能



①地域内の面的な取組（北海道ブロック）：阿寒湖温泉（北海道釧路市）

課題

参照すべき取り組み

①脆弱な観光コンテンツ

- 温泉街の飲食店数が限定的、営業時間も短いなど、観光コンテンツが脆弱であり、宿泊客が年々減少傾向
 - 既存施設の利活用や新たなコンテンツ創出が不可欠

②道内他地域との競合

- 世界遺産の知床など、道内人気観光地との差別化ができていない
 - 国立公園が有する自然やアイヌ文化を活かしたブランディングが重要



①地域資源を活用した観光コンテンツ創出

- 桜並木の整備や阿寒湖岬の森を活かしたナイトウォークイベント『カムイルミナ』を開催、域内での回遊エリアを新たに創出
- 廃屋の撤去や空き店舗のギャラリー化、飲食店のリニューアルなど既存施設のテコ入れを地域一体となり実施
- 自然を体験的に学ぶガイドツアーなど、ソフト面でも回遊を促進



②阿寒湖のウリに基づくターゲット設定とPR

- 自然体験・保護に関心が高い層をターゲットに設定
- 大自然を活かしたアドベンチャーツーリズムや、アイヌ文化の体験により、自然・文化の保護・継承という独自の付加価値を提供
- 台湾や欧米のアドベンチャーツーリズム層に向けた、海外旅行代理店とのオンライン商談会などのプロモーションを実施



観光宿泊地づくりのヒント



**宿泊施設・飲食店・観光施設が一体となり、
地域のウリを活かした面的な高付加価値化を推進**

①地域内の面的な取組（東北ブロック）：天童温泉（山形県天童市）

ビジョン・コンセプト

“もはや住みたくなる、ユニバーサルデザインの連泊滞在型温泉地域づくり”

特徴

豊富な観光コンテンツ・回遊施策

- 大型から小規模旅館まで、多種多様な宿泊施設11軒、飲食店150軒が集積
- 天童温泉を起点として、車で1時間圏内に多くの観光資源を保有



二次交通の
実証

飲食店・
観光施設
の改修

旅館の改修
温泉街の景観
整備



①地域内の面的な取組（東北ブロック）：天童温泉（山形県天童市）

課題

参照すべき取り組み

①事業者間の連携不足

- 個々の事業者による独自の発展を継続してきたことで、天童温泉全体の統一感や情緒性が年々低下
 - ▶ 人手で賑わう温泉街の再構築には地域事業者間の連携が不可欠



①旅館・飲食店が連携した観光地づくり

- 「競争から共創へ」のテーマのもと、宿泊施設と150軒の飲食店が連携し、高齢者や障がい者、外国人に優しい『ユニバーサルデザイン化』を高付加価値化の手法として選択
- 域内ほぼ全ての旅館が本事業に参加し施設のUD改修を実施、旅行介助士の育成などソフト面でも受入環境を整備



②限定的な周辺地域との連携

- 脆弱な二次交通等により周辺観光地とのつながりがなく、天童温泉のコンテンツ不足に拍車をかけている
 - ▶ 周辺地域の観光資源を天童温泉の観光資源と捉えた施策が重要



②ツアー造成による周辺観光資源の活用

- 銀山温泉の夜景を堪能する直行バスツアーを造成。宿泊旅館の玄関から乗車でき、参加者には天童温泉屋台村と横丁で使える利用券を配布
- 観光施設や周辺農家が参画し、ラ・フランスの収穫からフランスビールの醸造・ジョッキづくりまでを体験するツアー等を造成



観光宿泊地づくりのヒント



地域コンセプトを宿泊施設・飲食店・観光施設間で共有し、ハード・ソフト両面での高付加価値化を推進

①地域内の面的な取組（関東ブロック）：伊香保温泉（群馬県渋川市）

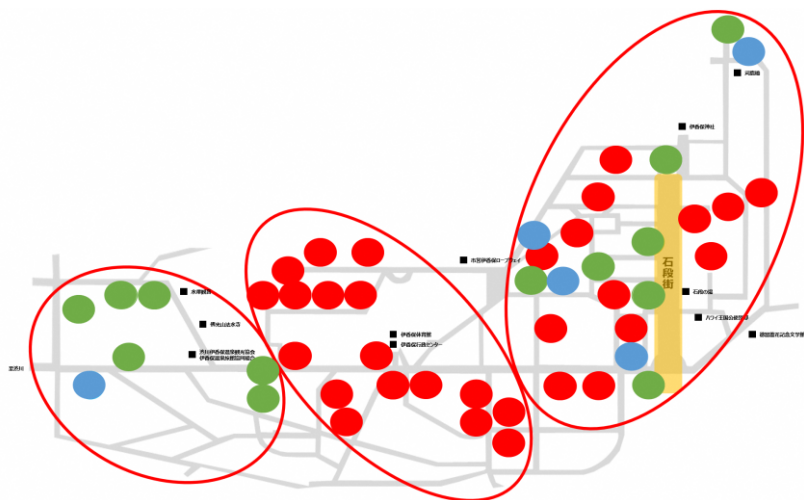
ビジョン・コンセプト

“「440年の歴史が紡ぐ温泉情緒」の継続・強化”

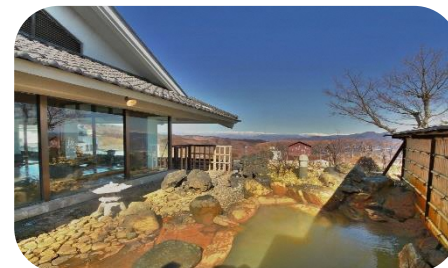
特徴

ノスタルジックな街並み・回遊施策

- ・ レンタサイクル等で温泉街の周遊観光が可能
- ・ 温泉だけでなく、飲食や自然・文化・芸術を温泉街内で楽しむことが可能



● 宿泊施設 ● 廃屋撤去 ● 観光施設



①地域内の面的な取組（関東ブロック）：伊香保温泉（群馬県渋川市）

課題

参照すべき取り組み

①石段街の低い回遊性

- 石段街の知名度は高いものの、滞在時間が短く夜間には各店舗が閉店するなど消費につなげられていない
 - 収益力向上には観光客の回遊時間の引き延ばしが重要



①ハード・ソフト両面による回遊性向上

- 回遊性の向上を企図した「しぶかわいかほフォトコンテスト」を継続的に実施し、1日を通した石段街の回遊を促進
- 本事業による観光施設のテラス増設やイベントスペースの新設により、フォトコンテストとの相乗効果を創出。更に、高付加価値化された施設を背景とした「映える」写真がSNS等で拡散されることで、潜在見込顧客の認知・興味関心を喚起



②景観の乱れの進行

- 老朽化した施設や空き店舗、廃屋などにより石段街の情緒が低下
 - 温泉情緒を演出する街並みの再構築が不可欠



②石段街の磨き上げによるターゲット誘客

- 景観デザインコンペを実施、市の補助制度を利用した店舗の改修により石段街の更なるブランド化と景観の統一化を図る
- R4年度事業でも多くの外観改修や廃屋の撤去を実施
- 石段街におけるライドアップイベントを実施、夜間の魅力向上により若年層やインバウンド層の取り込みを見据える



観光宿泊地づくりのヒント



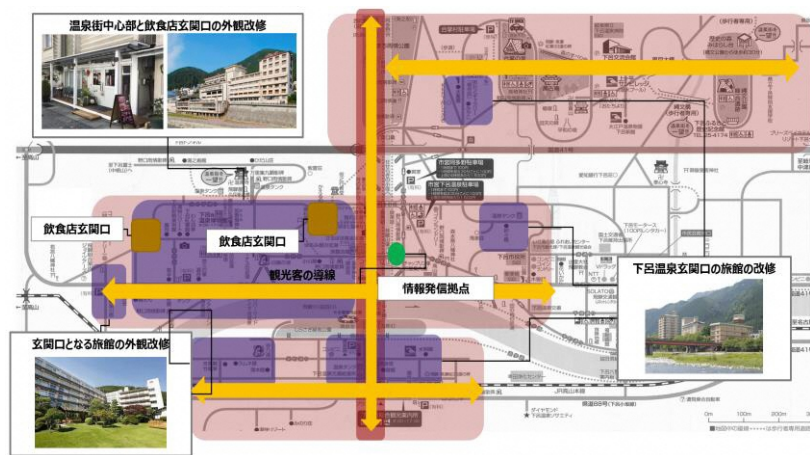
宿泊施設・飲食店・観光施設が地域一体となり、
ウリの磨き上げによる観光地ブランド化を推進

①地域内の面的な取組（中部ブロック）：下呂温泉（岐阜県下呂市）

ビジョン・コンセプト

“日本三名泉「下呂温泉」が牽引するマーケティングを活用した滞在型観光地づくり”

特徴



■ 当事業で対象となる宿泊施設エリア ■ 当事業で対象となる観光施設エリア
↔ 観光客の動線 ■ 観光客景観エリア

盤石な観光地経営・回遊施策

- 1,000年以上の歴史の中で、旅館・飲食店・文化施設などが温泉街に集積
- 地域内の観光関連産業に従事する住民の割合が65.6%



①地域内の面的な取組（中部ブロック）：下呂温泉（岐阜県下呂市）

課題

参照すべき取り組み

①観光資源の多様性の欠如

- 下呂温泉単独では観光コンテンツの集客力が弱く、長期滞在が困難
 - 下呂温泉を拠点とした4地域の観光資源を活かした戦略が不可欠

②季節による宿泊者数の偏り

- 繁忙期と閑散期で宿泊者数の偏りが大きい
 - 安定した雇用や市民生活向上には宿泊者数の平準化が必要



①地域内の面的な取組を促す観光コンテンツ開発

- 農泊体験ツアーや凍結した滝を見る氷瀑ツアーなど、下呂の生活・文化・自然を体験できるパッケージツアーを開発
- 食べ歩き商品「素肌美人スイーツ」ブランドを開発、ロゴ入りカップの使用を統一し、各店舗オリジナルのスイーツを提供
- 地域内を「繋ぐ」ことで、乏しい観光資源を補う



②観光関連データに基づくプロモーション

- DMOが主体となりエリア内の消費関連データを収集・分析、市・観光協会・事業者が参加する月次戦略会議にて分析結果を共有するとともに、施策をリアルタイムで検討・実行
- 具体例として、データ分析の結果、隣県である愛知県からの宿泊客が5割以上を占めることが判明した宿では、愛知県民限定プランを造成。コロナ禍においても売上増を実現



観光宿泊地づくりのヒント



宿泊施設・飲食店・観光施設が地域一体となり、データに基づく能率的な観光地づくりを推進

①地域内の面的な取組（北陸信越ブロック）：和倉温泉（石川県七尾市）

ビジョン・コンセプト

“来たらいつでも・どこでも・だれとでも、里山里海の自然と街歩きが楽しめる温泉地へ”

特徴



温泉街歩き・回遊施策

- 大小22軒の宿泊施設が「旅館エリア」に集積
- 「歴史文化エリア」や「ウォーターフロントエリア」など4つのエリアが集積して和倉温泉を形成

旅館エリア（東西）

ウォーターフロントエリア

歴史文化エリア

湯の香エリア



①地域内の面的な取組（北陸信越ブロック）：和倉温泉（石川県七尾市）

課題

参照すべき取り組み

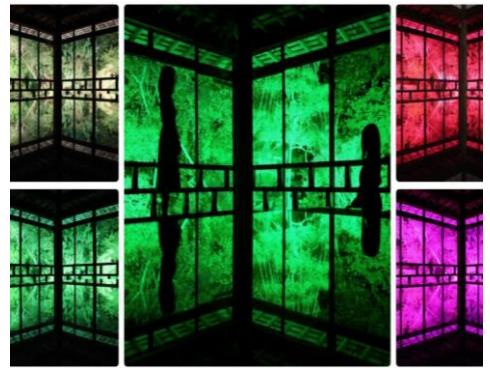
①脆弱な夜間コンテンツ

- 旅館完結型の滞在が主流となり、夜間に外出する観光客が少ない
 - ▶ 夜の和倉温泉をそぞろ歩きできるコンテンツ造成が不可欠



①「夜」の回遊を強化する仕組みづくり

- 青林寺や渡月庵でのライトアップにより夜間のフォトスポットを創出し、そぞろ歩きの促進とSNSでの情報拡散を狙う
- 公園のナイトバー化や棚田を彩る「あぜのきらめき」を巡るナイトタイムツアー造成により、夜の和倉温泉のブランド力向上を図る



②短期に留まる滞在

- 能登の大自然をはじめ、豊富な観光資源を有するも連泊日数が少ない
 - ▶ 体験コンテンツが不足しており、能登の強みを活かしていない



②連泊滞在を促すプログラムの充実

- 「能登の里山里海」を活かした野生イルカウォッチング・ヨット観光・釣りや、地元の漁師や農家から世界農業遺産である伝統的な農林漁業の保全活動を学ぶツアーなど、能登の豊かな自然を活かした体験型アクティビティ・プログラムを多数造成し、滞在時間の延長および連泊滞在を促進



観光宿泊地づくりのヒント



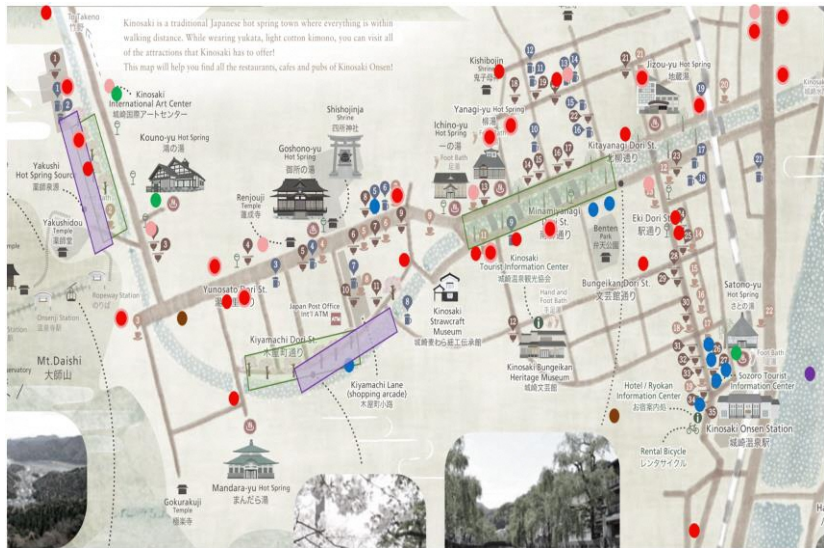
滞在型観光地化を目指して地域が一体となり、
回遊・滞在を促す独自の取り組みを面的に実施

①地域内の面的な取組（近畿ブロック）：城崎温泉（兵庫県豊岡市）

ビジョン・コンセプト

"もう1泊、もう1回、次の城崎"

特徴



- 宿泊施設の高付加価値化改修 ● 観光施設の改修 ● 実証事業
- 交通事業 ● 2021年度「既存観光拠点の再生・高付加価値化事業」参加施設
- ● 豊岡市による高付加価値化、地域全体に裨益する事業
- ● 城崎温泉観光協会事業 ● その他関連事業

外湯めぐり・回遊施策

- 温泉街を一つの旅館に例え、趣ある景観を街全体で維持
- 飲食店や土産物屋、アートや文学施設などの観光スポットが温泉街内に多数集積



①地域内の面的な取組（近畿ブロック）：城崎温泉（兵庫県豊岡市）

課題

参照すべき取り組み

①快適性と利便性の両立

- 車両と歩行者が狭い道路上に集中し外湯巡りの快適さを失う要因に
 - 住民の利便性を損なうことなく、観光客が安全かつ快適にそぞろ歩きを楽しめる仕組みの構築が必要

①地域内回遊を促進する面的なルール形成

- 人通りの多い時間帯に温泉街での車の使用や駐停車を控える「そぞろ歩きルール」を策定する等、観光客の快適性を保ちつつも、地域住民の利便性にも配慮した取り組みを実施
- 各旅館の浴槽容量を条例にて制限し、共同浴場である7つの外湯巡りを促進



②不透明な需要と供給

- 温泉街全体の予約状況を把握する仕組みが無く、個々のデータと推測に依存したマーケティング
 - 事業者間の連携による観光データの可視化が重要

②データに基づく独自の観光マーケティング

- 豊岡市、DMO、宿泊施設等が一丸となり、エリア全体の予約情報や在庫状況を自動集約する「豊岡観光DX基盤」を構築
- 個別事業者が自施設とエリア全体の予約状況や予約単価を比較できるようになり、タイムリーな施策の実行が可能に



観光宿泊地づくりのヒント



行政・事業者・地域住民が一体となり、
そぞろ歩きで賑わう宿泊観光地づくりを推進

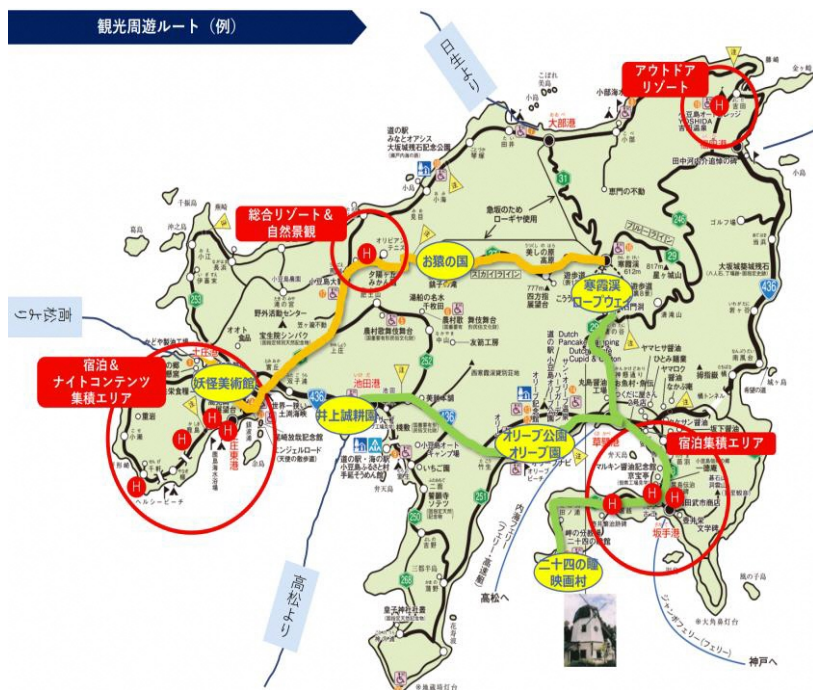
①地域内の面的な取組（四国ブロック）：香川県小豆島町・土庄町

ビジョン・コンセプト

"島とつながる、島でつながる"

特徴

観光周遊ルート（例）



持続的な島づくり・回遊施策

- 2町が強固に連携した「ONE小豆島」を目指し、小豆島観光再生活性化会議を中心とした座組を形成
- オリーブオイルや映画村など、小豆島ならではのブランディング施策を通じた回遊促進



①地域内の面的な取組（四国ブロック）：香川県小豆島町・土庄町

課題

参照すべき取り組み

①脆弱な二次交通

- 離島でありながらも、来訪者の約6割が日帰り観光客
 - 島内の脆弱な二次交通により、メジャー観光地のための回遊に留まる



①小豆島一体となった回遊の促進

- 小豆島町・土庄町が「ONE小豆島」として連携し、行政区・産業間の連携を強化する座組を形成
- 二次交通を改善すべく自治体と交通事業者が協議し、乗合バスや貸切バスの実証実験、小型EVのレンタルを実施



②曖昧なターゲット設定

- 明確なターゲット層の策定を行っておらず宿泊客数が伸び悩む
 - ターゲットの明確化および戦略的な施策の検討が重要



②ターゲット層の特定と戦略的な誘客

- 今後の伸びしろから鑑み、来訪者の21%を占める「ファミリー」、15%を占める「女子旅」を重要ターゲットに設定
- 各種メディア発信、ファムツアーの開催、インスタ映えスポットの造成、ロケ地誘致などを積極的に実施し、ファミリーや若年女性にアプローチ



観光宿泊地づくりのヒント



地域の強みを活かしたターゲット設定を基に宿泊施設・観光施設等が高付加価値化改修や、各施策の実施を推進

①地域内の面的な取組（中国ブロック）：山口県萩市

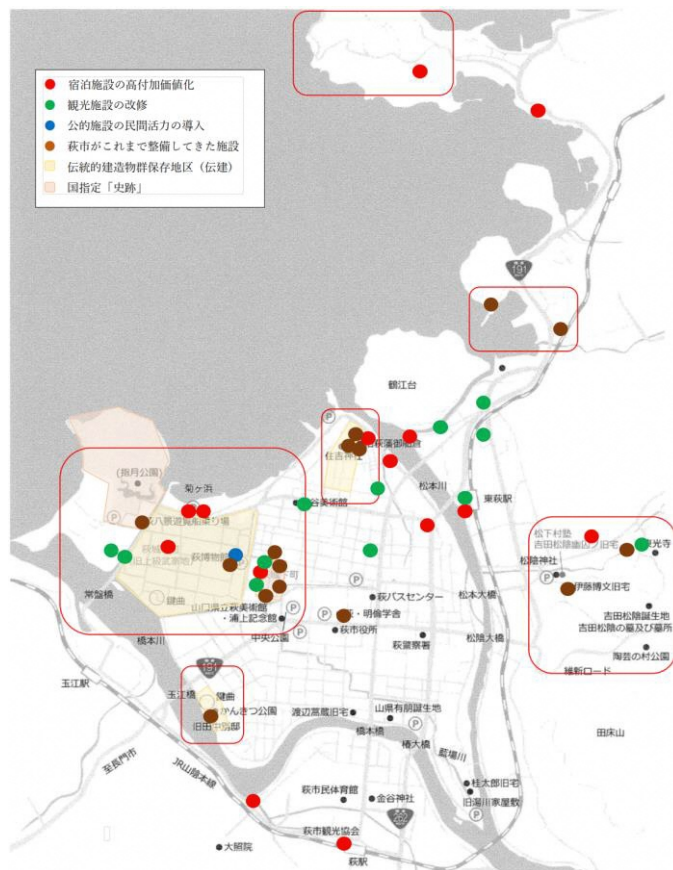
ビジョン・コンセプト

“自然と歴史に培われた暮らしの知恵と技にまちの至る所で出会える「まちじゅう博物館」を体験できるまち”

特徴

歴史ある城下町・回遊施策

- 多くの歴史文化を感じさせる資産が存在し、観光産業が発展
- 市内には宿泊施設や飲食店様々な体験ができる観光施設が集積



①地域内の面的な取組（中国ブロック）：山口県萩市

課題

参照すべき取り組み

①まち一体での統一感の欠如

- 古き良き萩の街並み景観も、個々の施設による独自の開発や施設の老朽化により一体感が乱れが進行
 - 地域全体でのルール形成やビジョンの策定・浸透が不可欠



①周遊を促す萩独自の景観形成

- 全国に先駆け、1972年に街並みの保全に関する「萩市歴史的景観保存条例」を制定、歴史文化や自然の保全に努める
- 市内全体を屋根のない博物館に見立てた「萩まちじゅう博物館構想」を策定し、市民・事業者・行政が協働で景観を形成



②一辺倒な観光コンテンツ

- 歴史文化の強みを抱えるも、観光コンテンツのバラエティが少なく宿泊客は年々減少
 - 旧来のビジネスモデル脱却を図る新たなコンテンツ造成が必要



②歴史文化を活かした体験コンテンツ開発

- 萩独自の歴史・文化を体験できる城下町サイクリングや菊屋家住宅での抹茶体験など多様な体験型コンテンツを造成
- 観光協会が開発費を一部支援し、地域一体となり萩ブランド力の向上を図ることで地域内回遊や長期滞在を促進



観光宿泊地づくりのヒント



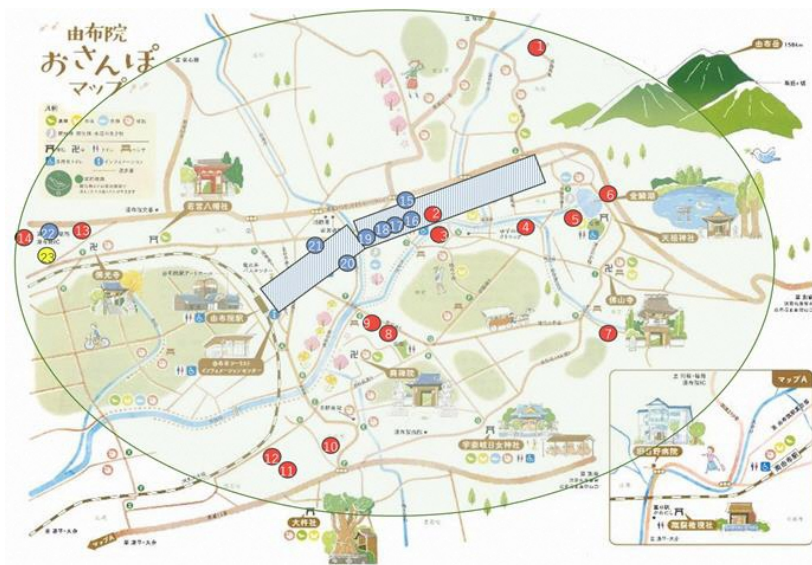
市内全体をひとつの博物館と見立て、
歴史文化を活かした面的な高付加価値化を推進

①地域内の面的な取組（九州ブロック）：由布院温泉（大分県由布市）

ビジョン・コンセプト

“まち歩き、長時間滞在が心地のよい「里山温泉公園」”

特徴



- 宿泊施設の改修等
- 観光施設の改修等
- 廃屋の撤去
- ▨ 現在の観光客密集エリア

自然と文化の融合・回遊施策

- 由布院盆地に位置する温泉郷であり、飲食店や美術館などの観光施設が立ち並ぶ
- 「緑と、空間と、そして静けさ」をコンセプトとし、街全体が“由布院ブランド”を形成している



①地域内の面的な取組（九州ブロック）：由布院温泉（大分県由布市）

課題

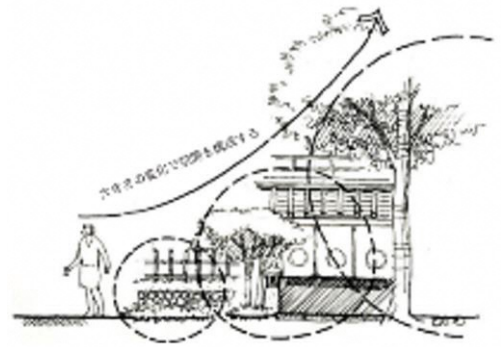
参照すべき取り組み

①景観デザインの乱れの進行

- 若手経営者・新規事業者の参入により景観に沿わない建築物が乱立
 - ▶ 周辺観光地と比較した際、由布院の優位性が脅かされる可能性

☑ ①独自の景観ガイドブックに基づくまちづくり

- 「ゆふいん景観・環境デザインガイドブック」を策定、あるべき由布院の景観を具体化し、地域内で共有
- ガイドブックに基づき、緑化を基調とした外観改修をR4年度事業にて面的に実施し、統一感ある街並みを再形成
- 自然環境と調和した佇まいを味わう散策を促す



②“由布院愛好家”離れ

- 施設の老朽化やオーバーツーリズム等の影響により顧客の満足度が低下
 - ▶ 顧客ターゲットを明確にし、ニーズに応える受入環境整備が重要

🏠 ②顧客ターゲット目線での客室改修

- 「緑と、空間と、そして静けさ」という地域特性に理解があるシニア層・インバウンド層をターゲットに設定
- 座敷からテーブル席への改修や洋室化など、ユニバーサルデザインの導入により“由布院愛好家”の満足度向上を目指す



観光宿泊地づくりのヒント



**宿泊施設・飲食店・観光施設が地域一体となり、
地域コンセプトに基づく面的な高付加価値化を推進**

②地域間の回遊

②地域間の回遊：加賀温泉郷（石川県加賀市）

ビジョン・コンセプト

“より良く巡る、加賀温泉郷”

特徴

エリア間での回遊促進

- 3つの温泉地が隣接し相互に観光客が往来
- 金沢・白川郷などの観光スポットを訪れた観光客の宿泊拠点としても活用



②地域間の回遊：加賀温泉郷（石川県加賀市）

課題

参照すべき取り組み

①3温泉地の独立した誘客

- 近隣に和倉温泉・宇奈月温泉などの競合温泉街が点在し、H27年度をピークに観光入込客数が徐々に減少
 - 山代・山中・片山津温泉が一つとなり、総合力を高めることが重要

②不十分な二次交通

- 山代・山中・片山津温泉間の相互誘客を実現する二次交通手段が十分に整備されていない
 - 3温泉地をストレスなく周遊できる二次交通整備が不可欠

① 3つの温泉の個性を活かした観光地づくり

- コンセプト「より良く巡る、加賀温泉郷」を策定、加賀温泉を構成する3温泉地の共創により相互送客する姿を地域内で共有
- 武士の湯治場として栄えた名湯や伝統工芸品「山中漆器」など、各温泉地の強みを活かした観光コンテンツを開発
- 宿泊客に対しエリアを跨いだおすすめ飲食店をPR・予約するサービスを行うなど、エリア一体となった情報発信を実践

②交通サービスの充実による周遊促進

- 2人乗り小型電動自動車のレンタルやトゥクトゥクのリースなど、移動が“アクティビティ”となる交通サービスを提供
- 観光名所を巡る周遊バスや、多言語通訳サービスを備えた観光タクシーの導入により温泉地間の移動を促進



観光宿泊地づくりのヒント



少し離れた観光宿泊地域を、

交通事業者と連携することにより周遊を促進

③離島間の周遊

③ 離島間の周遊：日間賀島・篠島（愛知県南知多町）

ビジョン・コンセプト

“子供のときに連れてきてもらった人が、大人になって子供を連れてくる島”

特徴

離島・島間連携

- 両島はフェリーで約 10 分の距離にあり、移動が容易
- 年間約 1 万人弱が両島を往来



③ 離島間の周遊：日間賀島・篠島（愛知県南知多町）

課題

参照すべき取り組み

① 二島の独立した誘客戦略

- 観光客数・地域人口の減少という共通の課題を抱えるも、これまで二島間の積極的な連携はなかった
 - それぞれの強みを活かした「二島巡り」の仕組みづくりが必要

② 離島という移動のハードル

- 電車＋船移動という敷居の高さから、一島訪問で完結する観光客が多い
 - 気軽に二島間を周遊できるパッケージプランの造成が不可欠



① 異なる観光資源を活かした周遊ストーリー

- 本事業を通じて二島が初めて強固に連携し、「遊んで、食べて、まなべる旅」という新コンセプトを策定、二島間回遊の意義やストーリーを作成
- 日間賀島の海水浴・レジャー、篠島の歴史文化など、両島の異なる魅力を活かしたひとつの島づくりを推進



② 交通事業者と連携した周遊ツアー造成

- タコやフグ、しらすをはじめとした二島のグルメが堪能できる宿泊パック・ツアー商品を交通事業者と共同開発
- 鉄道系事業者との協働により、交通広告を活用したプロモーションに注力
- 電車・観光船を乗り放題とすることで、移動のハードルを下げる



観光宿泊地づくりのヒント



離島間で連携し、地域ごとの魅力を活かした周遊を生み、
一体で価値を向上

④顧客ターゲットの拡大

④顧客ターゲットの拡大：静岡県熱海市

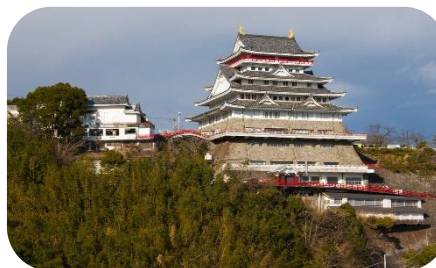
ビジョン・コンセプト

“変化しつづける 温泉観光地 熱海”

特徴

明確な発地ターゲット設定

- 過去、企業の慰安旅行をはじめとした、団体旅行や家族旅行の目的地として栄えた地域
- 近年、首都圏の若年層を中心にターゲットを明確化し、個人旅行の割合が増加



④顧客ターゲットの拡大：静岡県熱海市

課題

参照すべき取り組み

①“団体旅行依存”からの脱却

- かつては団体旅行の聖地として栄えるも、ニーズの変化により観光客が減少
 - 既存顧客層に依存しない観光地づくりを地域一体で取り組む必要

②若年層が求める宿との乖離

- 量産型の客室ではなく、より高付加価値で独自性を求める若年層
 - ターゲットのニーズを捉えるには、団体向け旅館のテコ入れが不可欠



①行政と地域が連携した新PR戦略

- トップも含めた行政機関と地域の関係者が集まる会議を設立、官民協働による「オール熱海」体制を構築
- 将来のリピーター層となる首都圏若年層やインバウンド層をターゲットに設定し、地域一体となった統一プロモーションを実施
- メディア担当の専任職員を配置するなど、メディアを活用したブランディングに注力し、新たな熱海ブランドを構築



②顧客ターゲット目線での宿泊施設改修

- 岩盤浴の導入や客室の洋室化・高付加価値化などを実施することで、近年若年層の人気拡大につながりV字回復に成功
- 形態・価格帯などバラエティに富んだ旅館が改修を実施することで、多様な選択肢を宿泊客に提供



©熱海市・熱海市観光協会



観光宿泊地づくりのヒント



顧客ターゲット目線でのハード・ソフト面の取組を推進し、新規顧客獲得をねらう

⑤滞在期間の延長

⑤滞在期間の延長：長野県茅野市

ビジョン・コンセプト

“「訪れる人々の豊かさを最大化する」長期滞在型高原レイクリゾートの再構築”

特徴



滞在型観光地へのリブランディング

- 団体旅行から個人旅行への変化により通過型観光地化が進む地域
- 近年DMOを結成し「高原レイクリゾート」としてブランド・観光スタイルの再構築に着手



⑤滞在期間の延長：長野県茅野市

課題

参照すべき取り組み

①通過型観光地からの脱却

- 団体旅行から個人旅行への変化に対応できず、宿泊客が大幅に減少
 - ▶ 高原エリアでの「ゆったりとした滞在」を促す施策が必要

②利便性に欠ける二次交通

- 茅野駅から扇型に広がる各観光地間の距離があり、誘客・滞在における大きな足枷に
 - ▶ 交通網の強化が不可欠

①滞在を促す独自の料金体系の導入

- 1泊より少し高い料金で、土曜朝9時にチェックイン・日曜午後5時にチェックアウトする「1.5泊」プランを導入
- 虫捕り体験や寒天作りなど、地域住民が担い手となる多様なアクティビティを提供することで「1.5泊」との相乗効果を創出

②市・交通事業者と連携した回遊性の向上

- 茅野駅⇔各観光地、観光地⇔観光地を結ぶシャトルバスを運行することで、縦横の連携が生まれ回遊性が大幅に向上
- 周遊バスのアプリ連動やバス内でのモニター設置による観光PR等、ソフト事業を組み合わせることで交通利便性の向上を図る



観光宿泊地づくりのヒント



宿単体の取り組み、地域一体の取り組みを組み合わせ、滞在期間長期化による高収益化を目指す

⑥新たな観光地化

ビジョン・コンセプト

“ひとが輝き ひとを繋ぐ茶源郷 和束”

特徴



特産品・地域ブランディング

- 京都府産茶葉の約半分を生産する人口約3,600人の小さな町
- 田舎ならではの生活体験を国内外に発信することで、徐々に観光客が増加



⑥新たな観光地化：京都府和束町

課題

参照すべき取り組み

①府内平均を下回る観光消費

- 茶畑景観により近年人気を集めるも、観光消費額が府内平均を下回る
 - “お茶”を消費につなげる新たなコンテンツ創出が必要



①地域産業の観光体験コンテンツ化

- 既存倉庫を改修し、観光客がお茶摘みから製茶まで通年で体験できる環境を整備
- 既存の工場見学にはない茶どころ和束ならではの付加価値を提供し、さらなる消費を促す



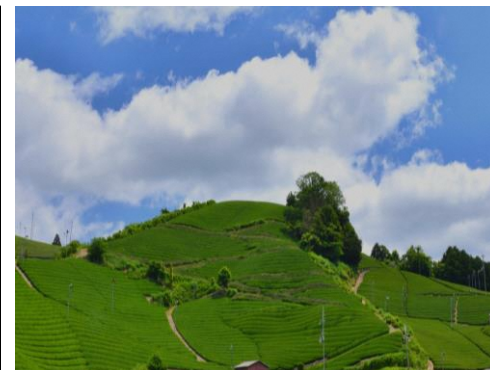
②想定顧客層ニーズとの乖離

- 民宿の開設など進めるも、和束町内の宿の多様性が限定的
- “お茶”にフォーカスした特別な体験を求めるニッチ顧客層を取り込むための受け皿整備が不可欠



②古民家を地域初の高付加価値宿に改修

- 茶畑の中心に位置する荒廃した古民家を、地元産木材を用いた一棟貸宿に改修し、お茶づくしのおもてなしを提供
- 地域初の高付加価値宿として、富裕層をはじめとした旅行熟度の高い顧客層の受け皿に



観光宿泊地づくりのヒント



もともとは観光コンテンツではない地域資源を見直し、
新たに観光地化をめざす

**選ばれる観光宿泊地づくりのヒント・
伴走支援で出来ること**

選ばれる観光宿泊地づくりのヒント・伴走支援で出来ること

—— 選ばれる観光宿泊地づくりのヒント —— —— 伴走支援 ——

ステップ① 関係者の巻き込み

- 自治体/DMOに加え、**地銀や交通関係者**を巻き込めている
- 金融機関を含めた関係者の巻き込み支援

ステップ② 計画の策定

- **観光宿泊地のあるべき理想像**が議論されている
- 計画の磨き上げ支援

ステップ③ 宿の高付加価値化

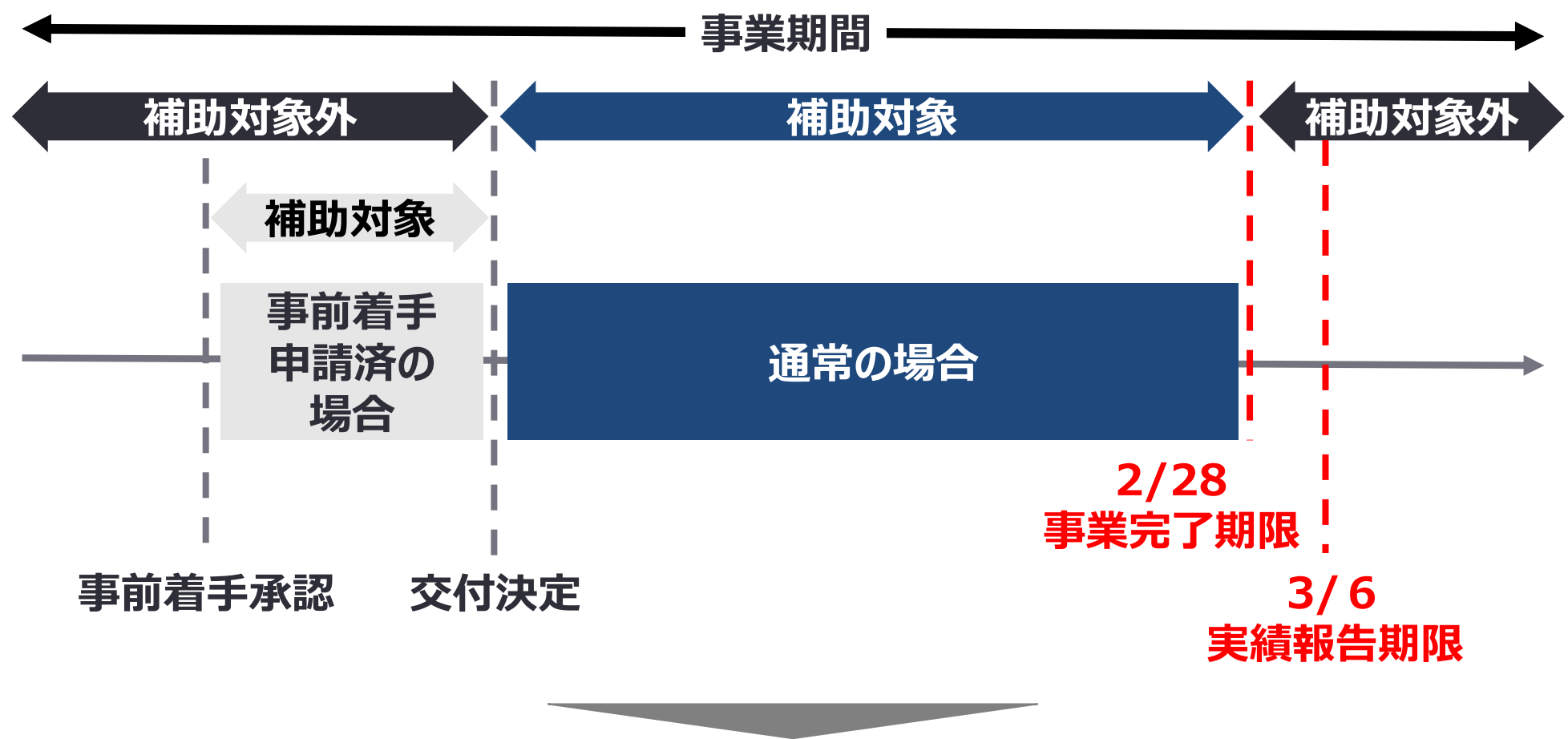
- **顧客ターゲット目線でハード改修**が実施できている
- 収益改善につながるハード改修の支援

ステップ④ ソフト面の取組み

- **人材育成やコンテンツづくり**など、ソフト面にも取り組んでいる
- 観光資源の見直し・磨き上げに向けた取組の支援

3. その他、本事業に関する共有事項

事業実施中の事業者様へ工期の徹底のご依頼



- ✓ 工事完成引渡し、代金の支払い含め、**2/28までに全業務の完了が必要**
- ✓ **全業務の完了後、遅くとも3/6までに実績報告の提出が必要**

※ 事業完了期限までに業務が完了しない場合は、速やかに「事故報告」を提出することで、業務途中までかかった費用分について補助金請求ができます

付録：活用事例に類似する地域集

活用事例に類似する地域集の位置づけ

本編において1地域のみで紹介に留まった類型について、観光業を取り巻く環境が活用事例と近いと考えられる等の地域を本付録にまとめました

本付録の位置付け

- 「①地域内の面的な取組」の分類は、該当する活用事例を、9ブロックで別々に紹介しました。
- 一方、「②地域間の回遊」から「⑥新たな観光地化」は、それぞれ1地域のみで紹介となっています。
- そのため、「②地域間の回遊」から「⑥新たな観光地化」の分類について、各地域ブロックごとに、取り巻く環境が近い地域や、今後目指すべき方向性や取組が参考になる地域を整理しました。

分類		地域名
1 地域内の面的な取組	北海道ブロック	阿寒湖温泉（北海道釧路市）
	東北ブロック	天童温泉（山形県天童市）
	関東ブロック	伊香保温泉（群馬県渋川市）
	中部ブロック	下呂温泉（岐阜県下呂市）
	北陸信越ブロック	和倉温泉（石川県七尾市）
	近畿ブロック	城崎温泉（兵庫県豊岡市）
	中国ブロック	山口県萩市
	四国ブロック	香川県小豆島町・土庄町
	九州・沖縄ブロック	由布院温泉（大分県由布市）
2	地域間の回遊	加賀温泉郷（石川県加賀市）
3	離島間の周遊	日間賀島・篠島（愛知県南知多町）
4	顧客ターゲットの拡大	静岡県熱海市
5	滞在期間の延長	長野県茅野市
6	新たな観光地化	京都府和束町

※本付録で扱う類型

「②地域間の回遊」の取り組みに類似している地域

②地域間の回遊 石川県加賀市

- ✓ 複数の観光地から構成され、それぞれの個性を活かしたコンテンツ開発を実施
- ✓ エリアを跨いだ回遊を促す情報発信や二次交通の整備に取り組む

地域ブロック	地域名
北海道	北海道小樽市
東北	宮城県大崎市
	山形県鶴岡市
関東	茨城県つくば市
	群馬県みなかみ町
北陸信越	新潟県佐渡市
中部	静岡県東伊豆町
近畿	兵庫県新温泉町
	京都府宮津市
中国	島根県松江市
四国	香川県小豆島
九州・沖縄	長崎県雲仙市

「③離島間の周遊」の取り組みに類似している地域

③離島間の周遊 日間賀島・篠島

- ✓ 共通の課題を抱える複数の行政区間が強固に連携
- ✓ 双方の周遊を促すべく、回遊ストーリーの作成やツアー造成等を実施

地域ブロック	地域名
関東	大島・神津島（東京都大島町・神津島村）
北陸信越	雪国観光圏 （新潟県南魚沼市・十日町市・魚沼市・湯沢町）
九州・沖縄	宮崎県宮崎市

「④顧客ターゲットの拡大」の取り組みに類似している地域

④顧客ターゲットの拡大 静岡県熱海市

- ✓ 既存顧客層の誘客に固執せず、将来を見据えた新たなターゲットを設定
- ✓ 地域一体となり、ターゲット層に向けた統一プロモーションや宿改修を実施

地域ブロック	地域名
北海道	定山溪温泉（北海道札幌市）
東北	岩手県八幡平安比高原
北陸信越	月岡温泉（新潟県新発田市）
中国	湯野温泉（山口県周南市）
四国	徳島県徳島市
九州・沖縄	熊本県阿蘇市

「⑤滞在期間の延長」の取り組みに類似している地域

⑤滞在期間の延長 長野県茅野市

- ✓ 過去通過型観光地化が進み、宿泊者数が減少
- ✓ 滞在延長を促進する新たな宿泊料金体系の導入や二次交通整備等を実施

地域ブロック	地域名
東北	福島県喜多方市
北陸信越	奈良井宿・藪原宿（長野県塩尻市）
中部	静岡県浜松市
中国	石見銀山（島根県大田市）
	広島県廿日市市宮島
四国	道後温泉（愛媛県松山市）
九州・沖縄	佐賀県唐津市

「⑥新たな観光地化」の取り組みに類似している地域

⑥新たな観光地化 京都府和束町

- ✓ 地域の主要産業を観光資源と捉え、観光客数が年々増加
- ✓ 地域独自の体験コンテンツや景観を活かした宿改修等を実施

地域ブロック	地域名
北海道	北海道富良野市
北陸信越	長野県小谷村
中部	福井県小浜市
中国	島根県江津市
四国	高知県土佐清水市
九州・沖縄	福岡県岡垣町